

排水設備責任技術者試験

☎ 下水道部管理課 内線 2511

受験資格 20歳以上で学歴に応じた実務経験を有する人

試験日 10月20日(水)

試験会場 県内3会場(沼津市、静岡市、豊田町)

受験料 5,000円

申し込み 7月26日～8月6日に、必要書類を下水道部管理課へ提出

※願書は7月12日から下水道部管理課で配布します。

市民歴史講座

☎ 文化振興課 内線 2721

とき 7月8日・15日・22日・29日
毎週木曜日 18:40～20:10

ところ ロゼシアター4階会議室

内容 富士山・愛鷹山あしたかの噴火、活断層と地震、富士川のはんらんと洪水、安政の東海地震と加島平野、吉原宿がえの所替と田子浦村の流失

定員 70人(先着順)

講師 土隆一つちりゅういちさん(静岡大学名誉教授)ほか
受講料 1,500円(全4回分)

申し込み 受講料を持参して文化振興課へ

はたお 機織り体験

☎ 市立博物館 21-3380

昔ながらの機織り機を使って機織り体験をしてみませんか。

とき 7月24日、8月21日、9月18日
各土曜日

10:00～12:00、13:30～15:30

ところ 歴史民俗資料館

申し込み 当日直接会場へ

※織った物の持ち帰りを希望する人は予約が必要です(7月8日9:00から電話で博物館へ。各日6人。先着順)。

働く人の労働安全衛生講座

☎ 商工労政課 内線 2591

とき 7月15日(木) 18:15～20:00

ところ ラ・ホール富士2階多目的ホール

テーマ 改正男女雇用機会均等法(セクシュアルハラスメント)について

内容

①講演会「ハラハラ・ウラハラ・セクハラ対策」

②創作落語「熟年パニック症候群」

講師 桂文也かへふみさん(落語家)

対象 勤労者

定員 250人 受講料 無料

申し込み 電話で商工労政課へ

テレホンカード「花と富士山シリーズ(第4弾)」を販売します

☎ 振興公社事業第二課 33-3400

施設利用振興公社は、テレホンカード「花と富士山シリーズ(第4弾)」を6月29日より販売します。

販売枚数 482枚限定
(1枚600円、50度数)



販売場所 富士市民

センター、市立富士体育館、ラ・ホール富士、温水プール、陸上競技場、富士マリンプール

育児をサポート 仕事と育児両立支援セミナー

☎ 商工労政課 内線 2591

とき 7月30日(金) 13:30～16:00

ところ ラ・ホール富士5階研修室

内容 ①講演「子どもと女性にとってやさしい社会とは？」

講師 川口正義かわぐちよしまささん(社会福祉士)

②体験発表 ③ビデオ視聴

対象 市内在住・在勤の人

定員 60人 受講料 無料

申し込み 電話で商工労政課へ

※託児あります(要予約)。

☆郷土の作家作品展(写真展)☆

「富士山を愛し撮る会」展

7月1日(木)～18日(日)

「風に乗って巡る四季の彩り」展

8月1日(日)～18日(水)

ところ ステーションプラザFUJI

(新富士駅内)

問い合わせ 施設利用振興公社事業第一課

☎61-6262

「ロゼ・メンバーズクラブ」 会員更新と新規入会募集のお知らせ

会員特典 ◎自主公演チケットの優先受付

◎チケット割引サービス

◎ロゼ・イベントニュースなどの郵送サービス

更新・募集期間 7月1日(木)～31日(土) 年会費 2,000円

申し込み 申込書と年会費を持参して、ロゼ・チケットセンターへ

※申込書はロゼシアター、各公民館、プレイガイドにあります。

問い合わせ ロゼ・チケットセンター ☎60-2500



福祉・保健コーナー ③6

ポキッ!折れちゃった!では遅すぎる
寝たきり予防はコツコツと

骨の健康チェック

30歳を過ぎたら年に1回測定しよう

骨折がきっかけで寝たきりになってしまったり、痴呆ちほうになってしまったりする人がふえています。自分の骨の状態を知り、よりよい日常生活習慣を身につけ、丈夫な骨をつくるコツをつかみませんか。

保健女性センターでは、超音波骨密度測定器を使って、保健婦が骨の健康

づくりへの相談に応じています。

とき 月～金曜日(祝祭日を除く)
9:00～16:00

ところ 保健女性センター1階
「骨の健康相談室」

対象 30歳以上の人(骨の健康に不安のある人は20歳代も可)

料金 無料

申し込み 電話で保健女性センターへ
(夫婦・親子・友人などグループでの申し込み可)

問い合わせ

保健女性センター成人保健係
☎64-8993



右足首(素足)をぬるま湯に3分間つけるだけ(結果の説明を含め、所要時間1人20分)

☆測定値が低めの方は「骨の健康づくり教室」へ参加しましょう。

※福祉・保健コーナーは今回で終了します。7月20号からは「田子の浦港だより」を掲載します。